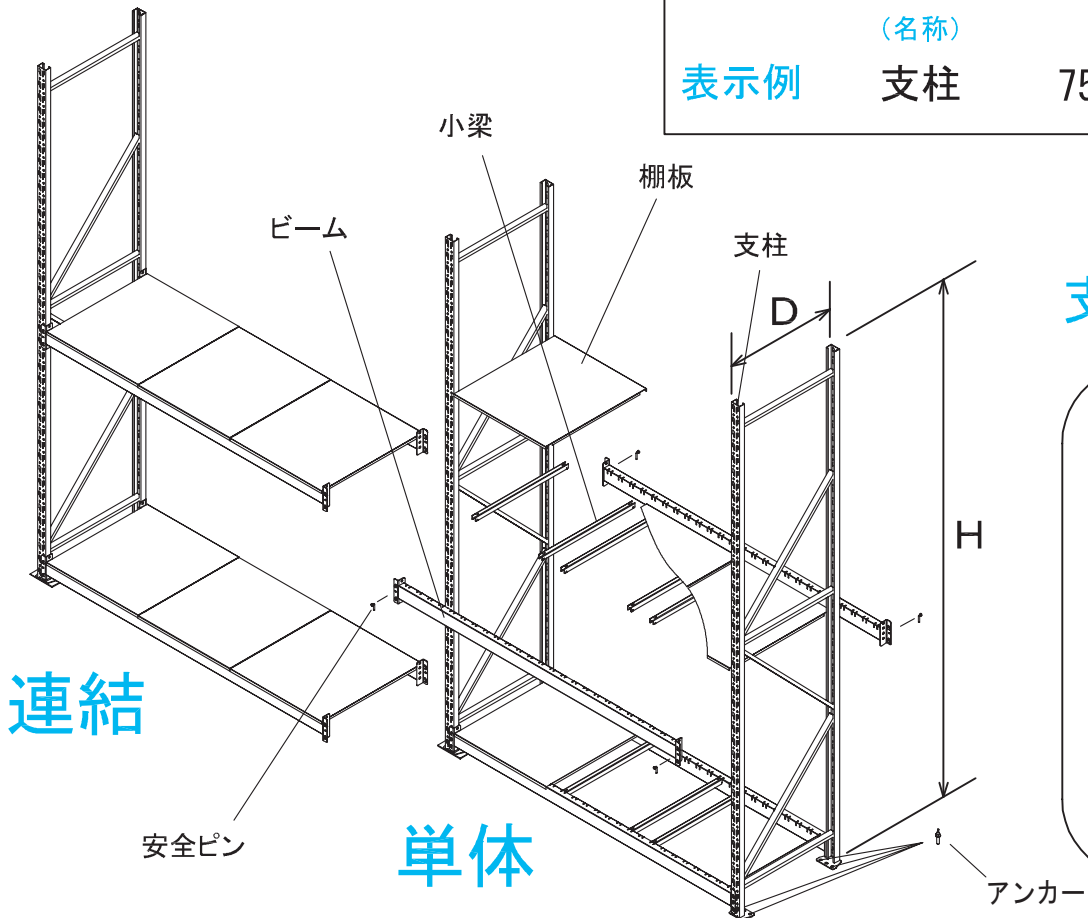


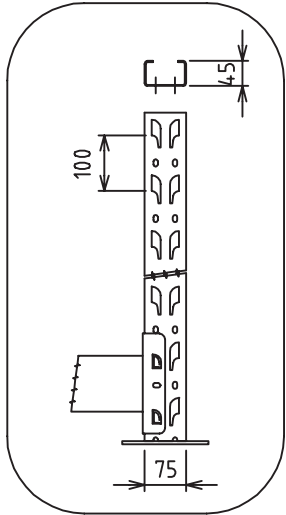
重量ラック



	(名称)	(型式-H×D)
表示例	支柱	75-4000×900

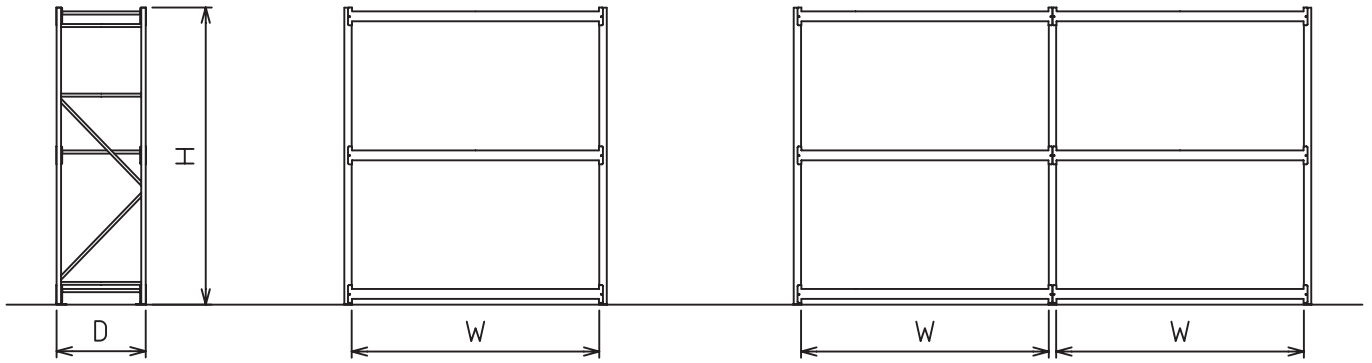


支柱の形状



～単体～

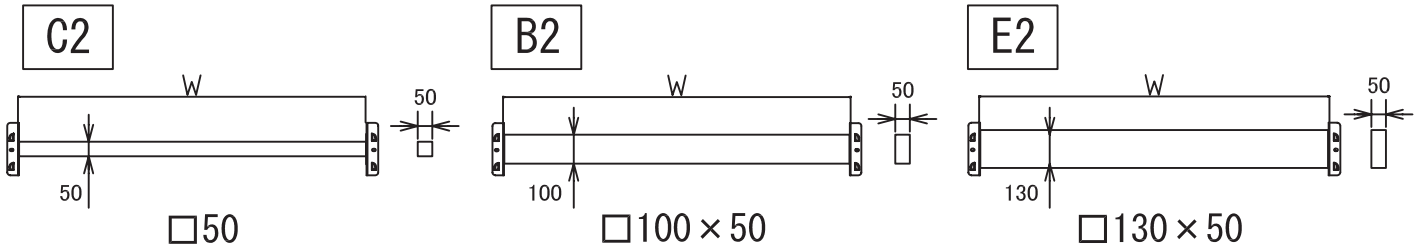
～連結(2連1基)～



W (有効間口) _(mm)	H (高さ) _(mm)	D (奥行) _(mm)
1850	3000	600
2500	3500	900
	4000	1200

※それぞれ寸法は一例です

◇ ビーム ◇



(名称)	(型式-W)
表示例	ビーム B2-2500

◇ 耐荷重 ◇

～全体総許容耐荷重～
(H-4000の場合)

支柱75	C75 × 45	6000kgまで/1間口
------	----------	--------------

～1段当りの許容耐荷重～

ビーム種類	W 有効間口 (mm)				
	1400	1850	2100	2500	3000
ビ-ΔC2 50 × 50	800kgまで	600kgまで	550kgまで	500kgまで	300kgまで
ビ-ΔB2 100 × 50	1900kgまで	1500kgまで	1300kgまで	1000kgまで	800kgまで
ビ-ΔE2 130 × 50		2300kgまで	2000kgまで	1800kgまで	1200kgまで

注) 耐荷重とは、均等に乘せた場合の数字です。
集中荷重になると、耐荷重能力は半減します。

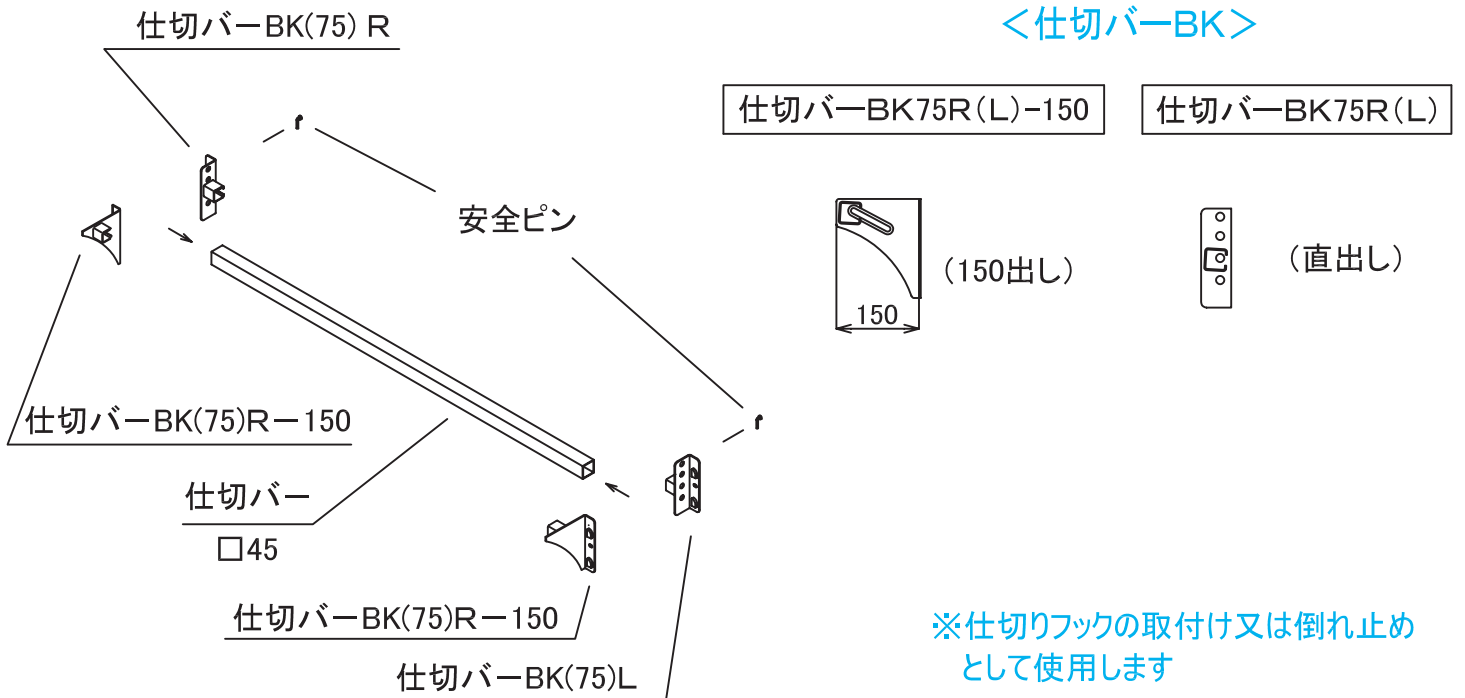


警告

耐荷重の許容範囲内でご使用下さい。
守らないと事故等が発生する原因になります。

◇ 重量ラック用アタッチメント ◇

～仕切バーセット～

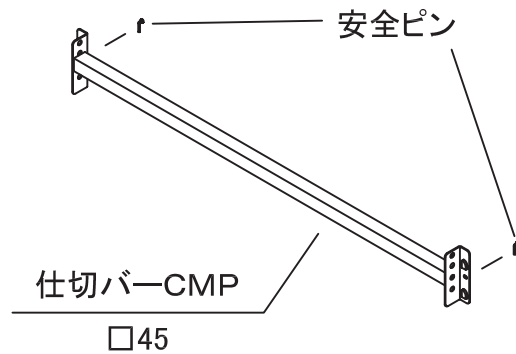


～仕切バーCMP～

(名称)
仕切バーCMP

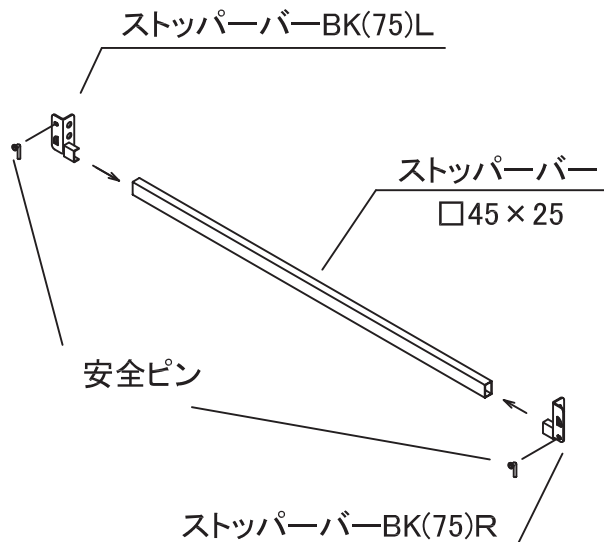
表示例

(型式-□45-W)
75-□45-2500



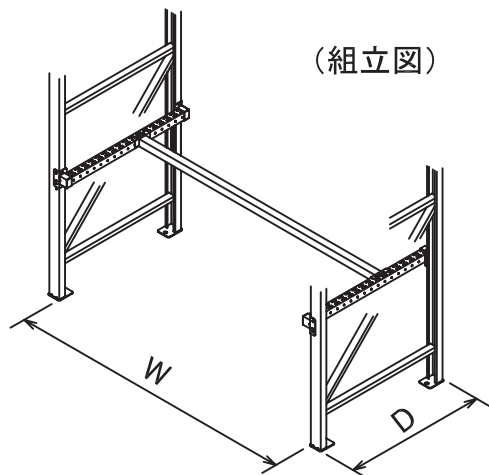
～ストッパーバーセット～

※ラック前面に倒れ止めとして使用します

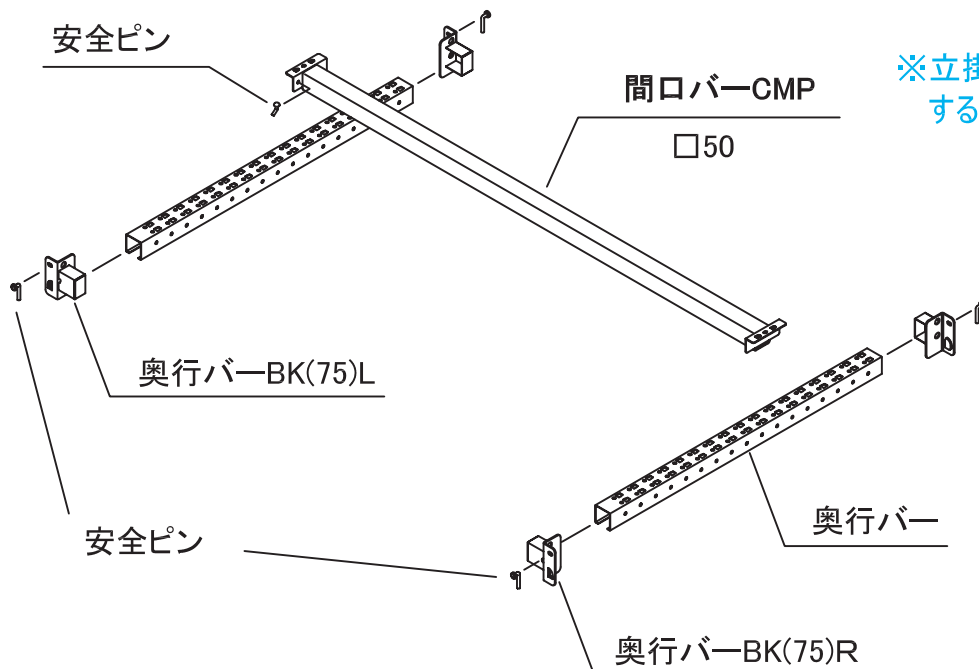




～中間立掛アタッチメント～

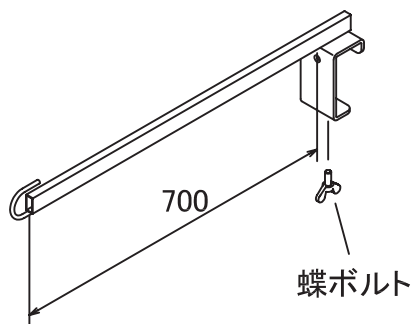


W (有効間口) (mm)	D (奥行) (mm)
1850	900
2500	1200

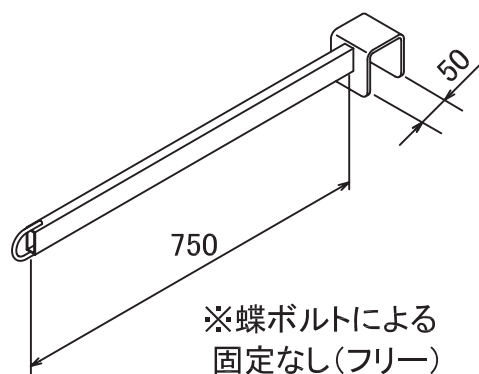


※立掛け商品をラック前方に陳列する場合に使用します

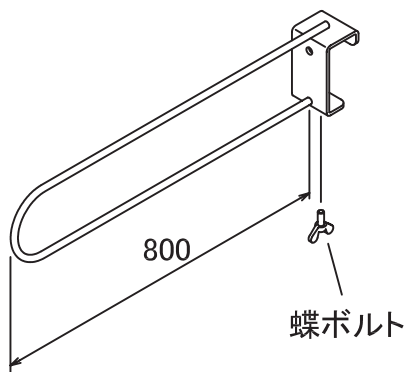
～仕切フック箱型45角用～



～仕切フックKM型～



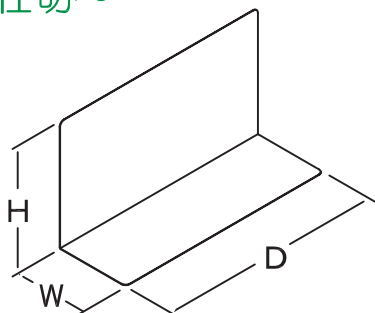
～仕切フックHM型～



※立掛け商品の仕切りに使います



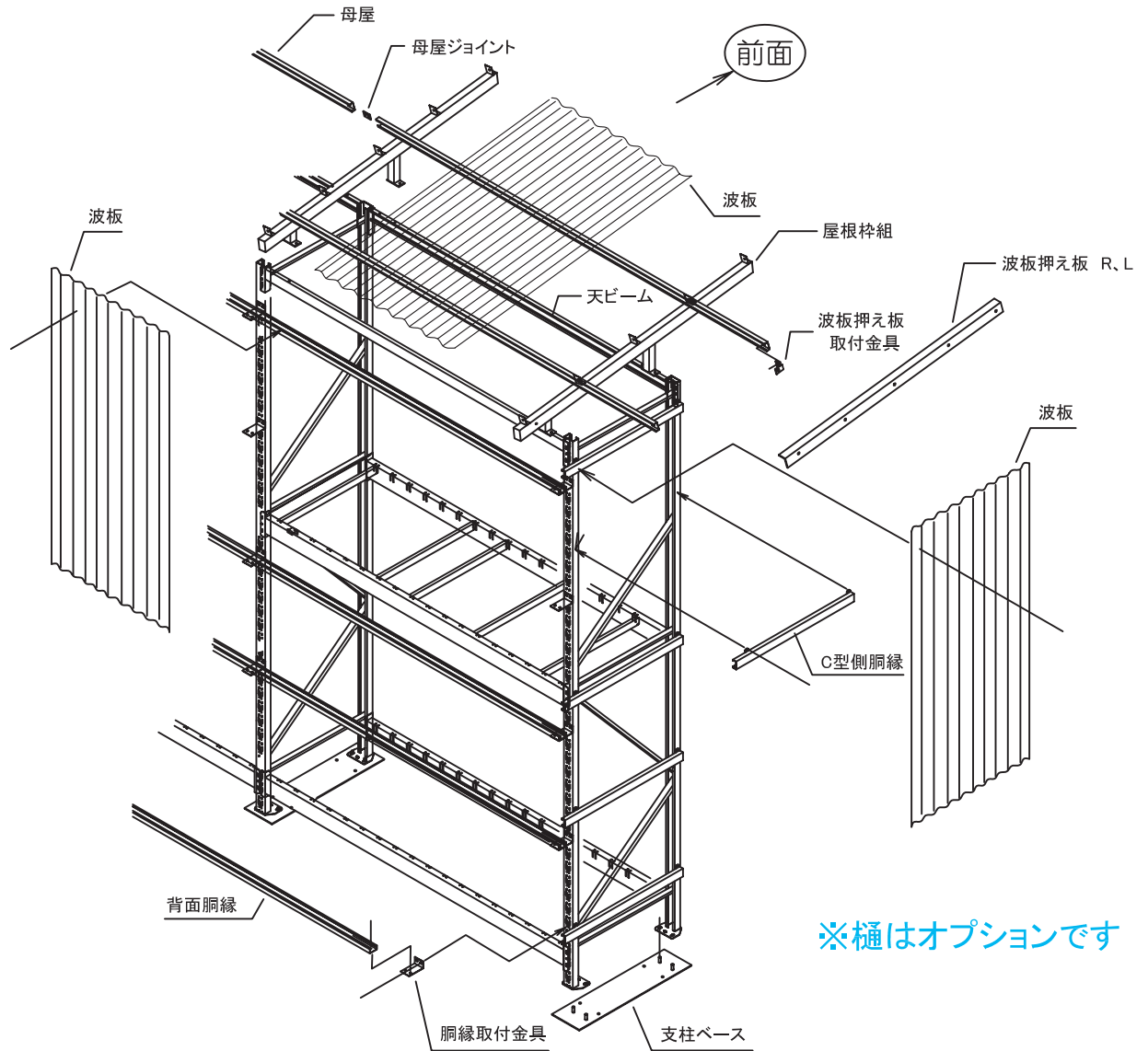
～L型仕切～



※商品の仕切りに使います

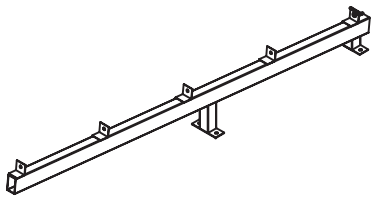


◇ 屋根・側面・背面部材 ◇

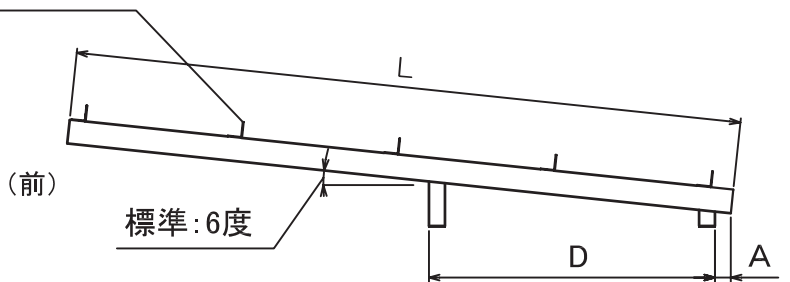


※樋はオプションです

～屋根枠組～



母屋取付金具



(名称)
屋根枠組
 (L×D-6°-A)
表示例
 2100×900-6°-100

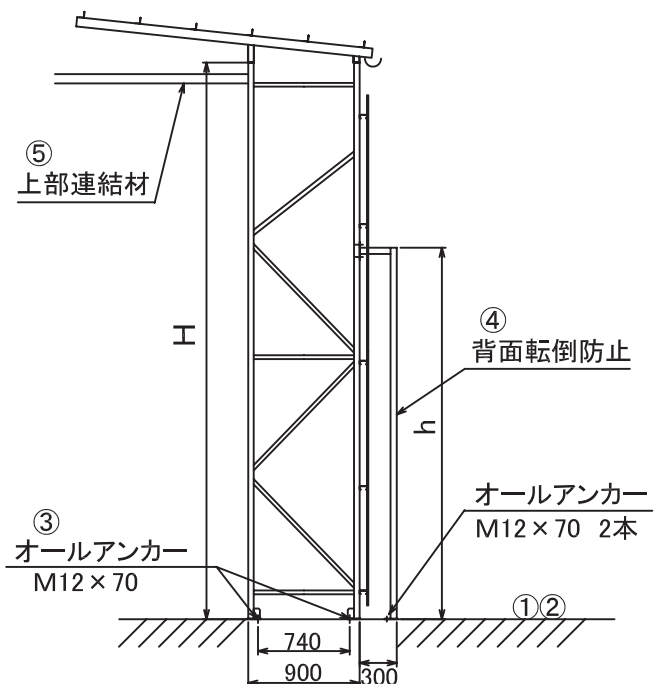
L (長さ) _(mm)	D (奥行) _(mm)	A 寸法 _(mm)	
		A	用途
2100	900	50	複列用 (樋使用)
2400	1200	100	単列用 (樋使用)
		220	単列用 (樋無し)



◇ 重量ラック施工基準 ◇

- ①設置面はコンクリート面とします。(コンクリート厚さ120mm以上、圧縮強度210kgf/cm²以上)
- ②設置面は水平レベルを出して下さい。
- ③アンカー施工(転倒防止のため下記の条件で施工して下さい)
単式支柱、複式支柱の場合共支柱1本に4ヶ所のアンカーを打って下さい(M12×70 深さ50mm)
- ④背面の転倒防止は、支柱1本置きに取付けて下さい。
- ⑤上部を、他のラックと連結できる場合は背面の転倒防止の代わりに上部に転倒防止連結材を取り付けて下さい。

柱高さH(mm)	転倒防止高さh(mm)
4500	3000
3300~3500	2500
2100	1800



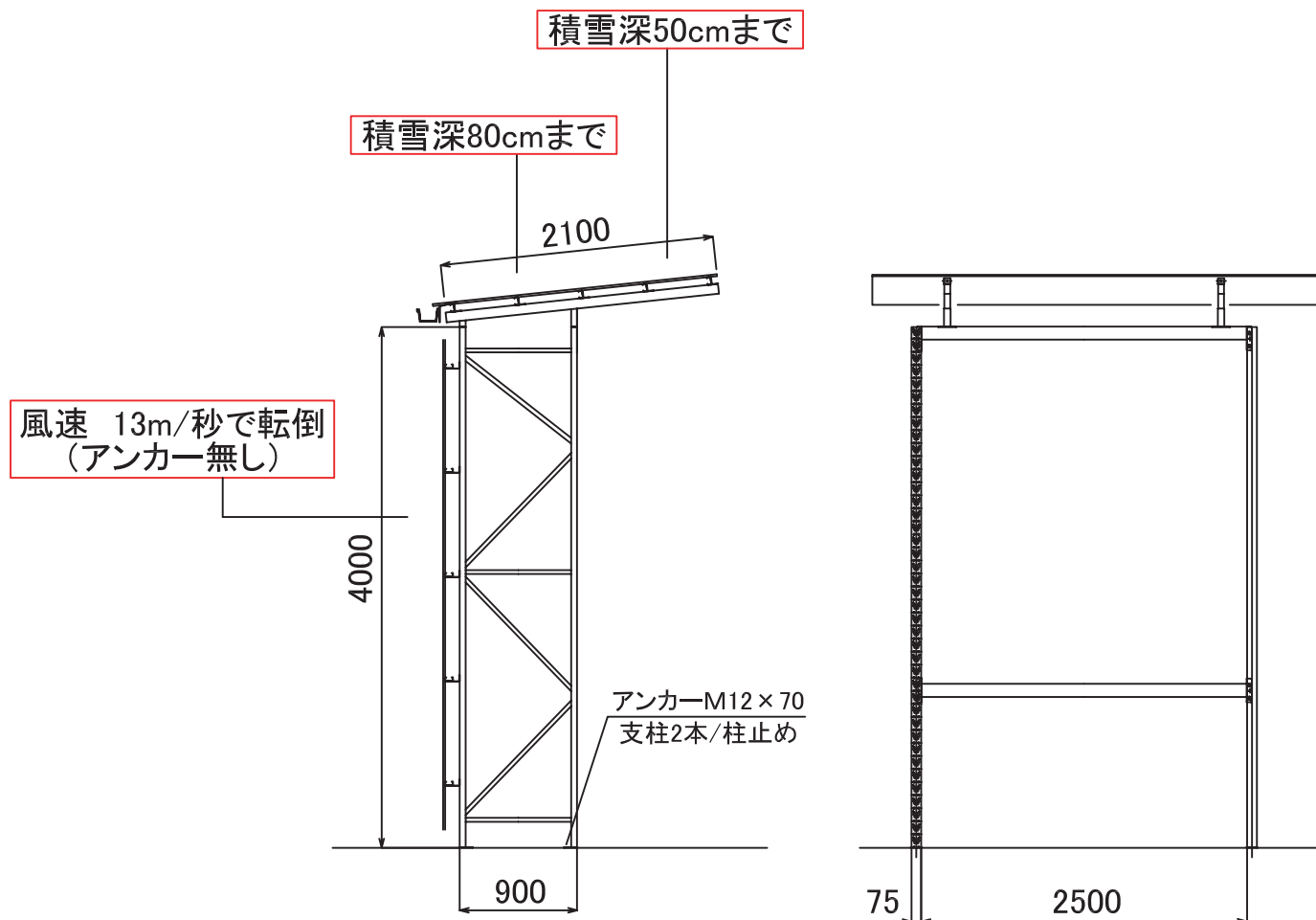
注) 設置場所により建築物とみなされ建築確認申請が必要になる場合がありますので事前に調査して下さい。



警告

支柱は必ずアンカーにて固定して下さい。
守らないと転倒によりけがをする場合があります。

◇ 標準屋根付ラック耐雪・耐風強度について ◇



～耐雪強度について～

- 柱をアンカー打ちした場合(2ヶ所/柱)上図の積雪までとします。

～耐風強度について～

- ラック内に物がなくアンカー止めしていない状態で風速13m/秒までとします

注) 上記の寸値は、計算上の目安ですので色々な条件により数値は変わります。